

飯能市市制施行70周年記念事業 特別展



飯能市市制施行
70周年

原市場村

H A R A I C H I B A

秘史 受け継がれる 記録と記憶



[会期] 令和5(2023)年

10月15日[日]~
12月10日[日]

[開館時間] 午前9時~午後5時

[休館日] 月曜日、11月24日(金)

昭和54(1979)年飯能市小瀬戸付近上空より撮影。

右手手前より中藤下郷、中藤中郷、中藤上郷、
左手手前より下赤工、上赤工、原市場、唐竹、赤沢の集落。



飯能市立博物館

Hanno Municipal Museum

愛称:きつとす

開館時間 午前9時~午後5時 〒357-0063 埼玉県飯能市大字飯能258-1
TEL (042)972-1414 FAX (042)972-1431

・臨時休館等を行う場合がありますので事前にホームページを確認してください。
・駐車場には限りがあります。公共交通機関を利用してください。



ACCESS

飯能駅北口または東飯能駅西口より名栗方面バス「市民会館・博物館」バス停下車徒歩3分、または西武飯能日高方面バス「OH!!!・天覧山下」バス停下車徒歩5分



ホームページ



X
(旧Twitter)



Facebook

原市場村

HARAICHIIBA

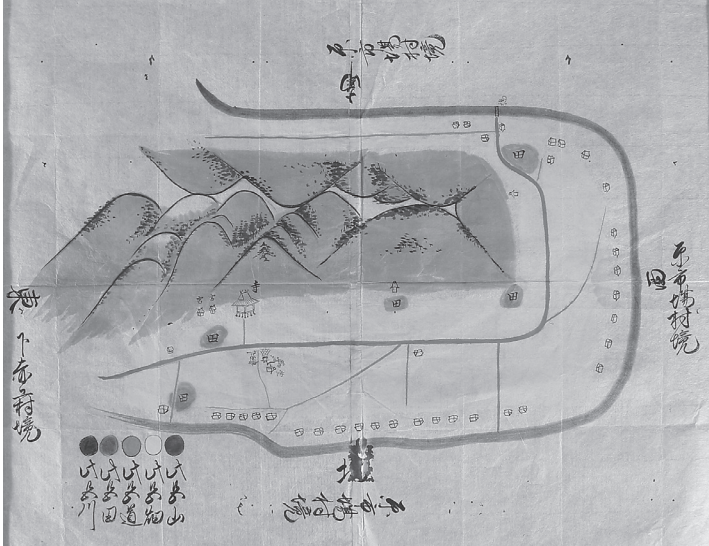
秘史

受け継がれる
記録と記憶

昭和31(1956)年9月30日、原市場村は吾野村、東吾野村とともに飯能市に合併しました。令和8(2026)年で合併から70年が経過します。

発掘調査で発見された埋蔵文化財をみると、この地では縄文時代早期後半から生活が営まれていたことがわかります。また、江戸・東京で数多く使用された材木の生産地であり、その経路でもあった原市場村は近世以降大きく発展を遂げました。近代以降の歩みについては、旧原市場村役場文書が飯能市立博物館に所蔵されており、郷土研究会や行政による調査、『文化新聞』などの記事に当時の生活の様子などが記録されています。

本展では「旧原市場村」に焦点を当て、地域に受け継がれる様々な「記録」と人々の「記憶」から歴史・文化やその移り変わりについて紹介します。



上赤工村絵図[近世期]



中藤上郷 温泉湧出伝説のある巨岩



市指定無形民俗文化財 石原の獅子舞

特別展関連事業

① 展示解説

担当学芸員による展示資料や見所の解説等

日時：10月22日(日曜日)10:30-11:00

11月11日(土曜日)10:30-11:00

会場：飯能市立博物館特別展示室・展示ホール

申込：なし、開始5分前に直接会場へ

② 講演会

演題：「筏仲間から近代の材木商同業組合への展開」

講師：丸山 美季氏(学習院大学史料館 学芸員)

概要：江戸・東京に材木を供給した原市場村を含む西川林業地帯の発展に重要な役割を果たしたのが、材木商人です。近代の材木商同業組合が、近世の筏仲間を土台に、西川材、西川林業のブランド化、産地としての確立を実現していく展開過程についてお話しします。

日時：12月3日(日曜日)10:00-11:50 (受付9:45～)

会場：飯能市市民会館会議室202

定員：40名(抽選、定員に満たない場合は先着順)

申込：電子申請・往復はがきによる申込みで11月18日(土曜日)締切

参加費：無料

③ 現地見学会「原市場伝説探訪」

講師：波田 尚大(飯能市立博物館 学芸員)

概要：自然豊かで長い歴史を持つ原市場には数多くの伝説が発生し、語り継がれていました。そのような伝説の舞台となった地を巡ります。

日時：12月9日(土曜日)13:20-16:00 (受付13:05～)

会場：「国際興業バス 畑中」(集合)→「倉掛峠」→「中藤川」→「中藤上郷湯/花」→「国際興業バス 畑中」(解散)

【合計6km程】

定員：10名(抽選、定員に満たない場合は先着順)

申込：電子申請・往復はがきによる申込みで11月25日(土曜日)締切

参加費：100円(保険代)+各自交通費

※申込方法の詳細は博物館ホームページをご確認ください。



飯能市立博物館

Hanno Municipal Museum

愛称:きつとす